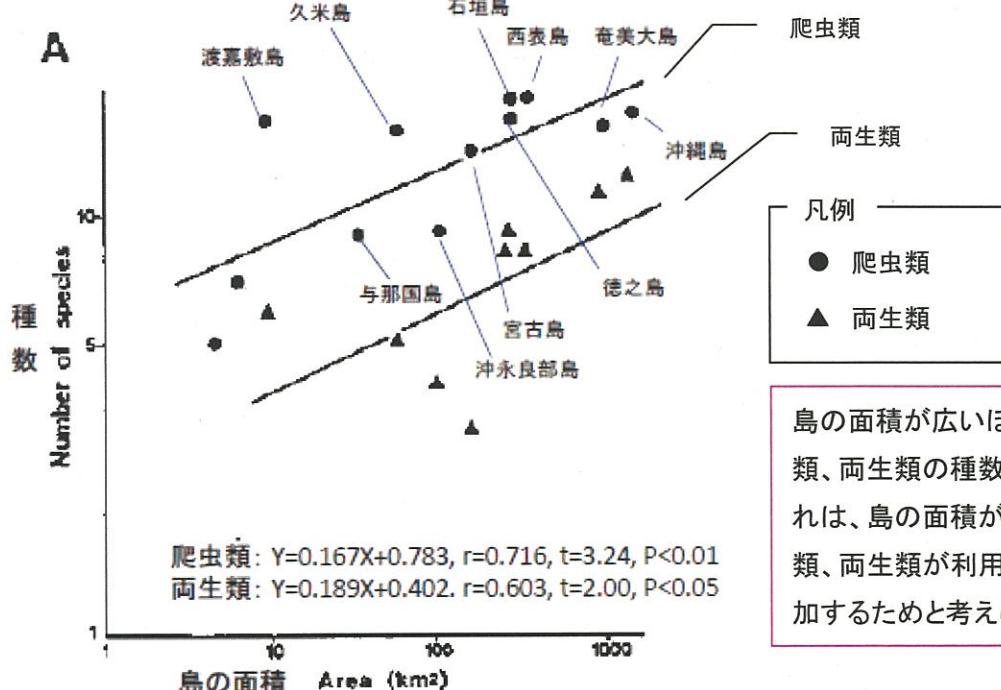
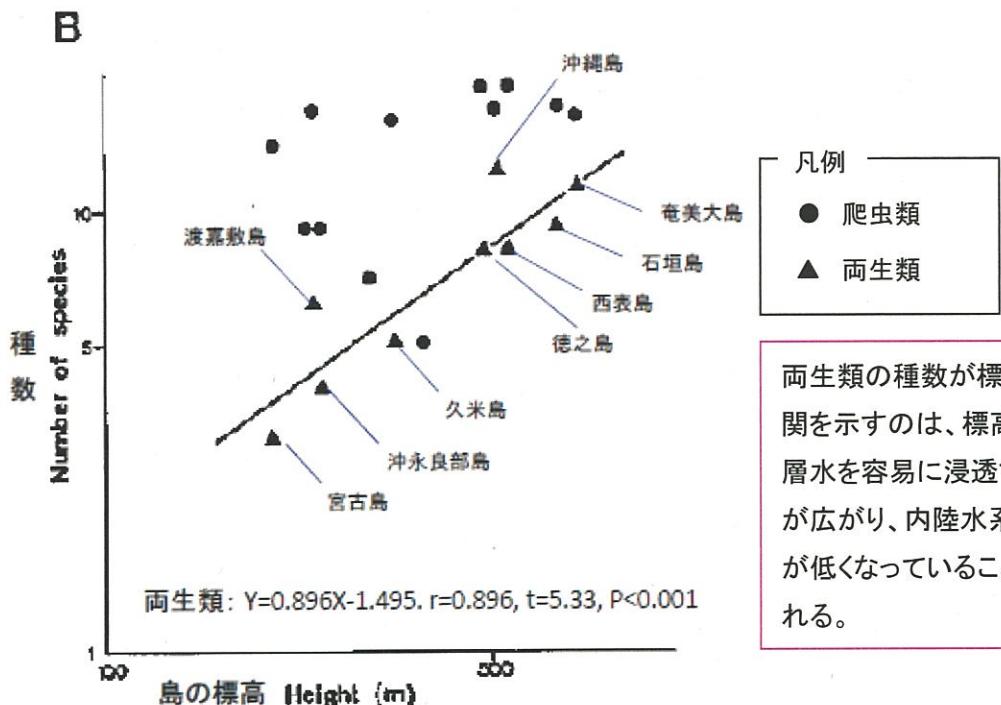


## 爬虫類・両生類における島の面積及び標高と種数の関係



A. 島の面積と種（亞種）数の関係

島の面積が広いほど、生息する爬虫類、両生類の種数が多くなる傾向。これは、島の面積が広いほど、爬虫類、両生類が利用可能な生息地が増加するためと考えられる。



B. 島の標高と種（亞種）数の関係

両生類の種数が標高と強い正の相関を示すのは、標高の低い島では表層水を容易に浸透する琉球石灰岩が広がり、内陸水系生息地の多様性が低くなっていることが要因と考えられる。

図は Ota(2000)\*をもとに、島名（資料2-1-1に掲載した島）、回帰式等を追記した。

\* : Ota,H. (2000) The current geographic faunal pattern of reptiles and amphibians of the Ryukyu Archipelago and adjacent regions. Tropics 10:51-62.